

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	マンモグラフィ検診における乳房石灰化と血清アルカリホスファターゼ値の関連性を探索する後方視的観察研究	
1. 研究の目的と方法	<p>研究目的：この研究の主な目的は、乳がんの検診を受ける方々のマンモグラフィ（乳房のX線撮影）で見られる「乳房石灰化」（乳房にカルシウムが溜まって白い斑点として映る現象）と、血液中の「アルカリホスファターゼ（ALP）」という酵素の量との関連性を調べることです。さらに、副次的な目的として、マンモグラフィで見つけた特徴が、他の臨床的要因とどのように関連しているかを探索します。</p> <p>研究方法：過去のデータを元に研究を行う後ろ向き研究を行います。2000年から2020年までに乳がん検診を受けた方々のデータを対象に、血液中のALP値と乳房石灰化の関連性を詳細に調査します。具体的には、ALP値の平均を基に患者さんを4つのグループに分け、各グループでの石灰化の割合を比較検討します。</p> <p>検査項目は主に以下のようなものです：</p> <p>マンモグラフィでの石灰化の割合、世代別の石灰化の割合、時間経過による石灰化の変化など。そして、以下の項目についての情報を収集します：検診受診日、患者情報（年齢、性別、身長、体重等）、生活スタイル（喫煙、飲酒、食事など）、既往歴、家族歴、身体検査結果、血液検査結果、画像所見など。</p> <p>収集したデータは、個人が特定されないように加工されます。統計解析には一般的な統計手法が用いられます。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2000年1月から2020年12月までに乳がん検診の目的で新橋健診センターを受診された20歳以上の方で、乳がん検診時に検診に伴い発生する検査データ等を医学研究へ利用することについて同意された方	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、マンモグラフィ結果、など
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	<p>あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。</p> <p>試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。</p>	
	(1)当施設の	研究機関名 東京慈恵会医科大学 乳腺・内分泌外科

	研究責任者 または研究 代表者	氏名	伏見 淳		
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥			
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 乳腺・内分泌外科 神尾 麻紀子			
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。			
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年10月頃～				
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：助教 伏見 淳（ふしみ あつし） 窓口担当者：助教 伏見 淳（ふしみ あつし） 電話番号：03-3433-1111（内線：3401） 対応時間：平日 10:00 ~ 15:00				

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。